

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	みらいず行徳
住 所	千葉県市川市行徳駅前1-1-8 ポートレート1階
電話番号	047-712-7434

事業所番号	1212702128
管理者名	長島 望
対象年度	R7年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	150	点 / 200点
----	-----	----------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	32,410	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	8,435	人	利用者の1日の平均労働時間数	4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	10,203,435	円	利用者に支払った賃金総額	10,198,245	円	収支	5,190	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------	---

前々年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	26,446,058	円	利用者に支払った賃金総額	26,365,085	円	収支	80,973	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前年度（令和7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	37,339,021	円	利用者に支払った賃金総額	37,153,501	円	収支	185,520	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

② 利用者を職員として登用する制度

② 利用者を職員として登用する制度を定めている

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画を策定している
 ② 外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。
 ※研修名 サビ管育成セミナー
 研修講師 谷口/西田/福田/西山/太田/岡嶋
 実施日・受講者数 12月^{13/14}日 1人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している
 ※研修、学会等名
 実施日 月 日
 ※学会誌等名
 掲載日 月 日
 発表テーマ

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 先進的事業者の視察・実習の実施している
 もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている
 ※先進的事業者名 株式会社こうめ
 実施日/参加者数 2月10日 3人
 ※他の事業所名
 実施日/参加者数 月 日 人

④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。
 ※商談会等名：フランチャイズ・ショー 2026
 主催者名：日本経済新聞社
 日時 3月6日
 内容 各種フランチャイズビジネスの商談会

⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度を整備している
 ⑥ 当該人事評価制度を周知している
 人事評価制度の制定日 R5年2月1日
 人事評価制度の対象職員数 7名
 うち昇給・昇格を行った者 7名
 当該人事評価制度の周知方法
 書面での提示

⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターを配置している
 ⑦ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している
 ※配置期間 月 日～月 日
 就業時間 9:00～18:00
 職務内容
 職業指導員+相談受付（サポート等）

⑦ 第三者評価

⑦ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている
 ※評価を受けた日 月 日
 第三者評価機関

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている
 ※認証を受けた日 月 日
 規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

⑨ 指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。
 ※受理日 年 月 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	みらいず行徳
住所	千葉県市川市行徳駅前1-1-8 ポートレート1階
電話番号	047-712-7434

事業所番号	1212702128
管理者名	長島 望
対象年度	R7年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

【活動場所】 みらいず行徳
【実施日程】 令和7年9月
【実施した生産活動・施設外就労の概要】
玉葱の選定作業/箱詰め作業/発送作業
人参の選定作業/袋詰め作業/箱詰め作業
【利用者数】 11名

<目的>

本活動は、地域企業と連携した生産活動および施設外就労を通じて、利用者の就労能力向上および一般就労に向けた実践的な経験の獲得を目的として実施した。

具体的には、以下の点の向上を目指した。

- ・作業の正確性およびスピードの向上
 - ・チームでの役割分担や協力体制の理解
 - ・指示理解力および報告・連絡・相談の実践
 - ・就労現場に近い環境での継続的な就労経験の獲得
- また、農産物の選定・加工・出荷作業を通じて、地域産業への貢献と社会参加の機会創出も目的とした。

<成果>

本活動を通じて、利用者以下のような成果が見られた。

- ・玉葱・人参の選定や袋詰め・箱詰め作業において、作業精度および処理スピードの向上
 - ・継続的な作業参加により、出勤率や作業への安定した取り組み姿勢の向上
 - ・作業手順の理解が進み、自発的に動ける利用者の増加
 - ・チーム内での声掛けや協力意識の向上
 - ・実際の出荷業務に関わることで、仕事への責任感の醸成
- 特に、繰り返し作業の中で「正確に仕上げる意識」や「納期を意識した行動」が身につく、一般就労に必要な基礎力の向上が見られた。

<活動の様子>



連携先の企業等の意見または評価

連携先企業からは、以下のような評価をいただいた。

- ・作業の習熟度が高まり、安定した作業品質が維持できている
- ・人数配置や作業体制の調整が柔軟で、業務を任せやすい
- ・継続的に参加する利用者が増え、作業効率が向上している
- ・指示に対する理解や対応がスムーズになってきている

一方で、さらなる改善点として、

- ・作業スピードのばらつき
- ・一部利用者の指示理解の差



なども挙げられており、今後は個々の能力に応じた支援強化および全体の底上げを図っていく必要がある。

連携先企業名	株式会社RAG東京	担当者名	(未公開)
--------	-----------	------	-------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	みらいず行徳	事業所番号	1212702128
住所	千葉県市川市行徳駅前1-1-8 ポートレート1階	管理者名	長島 望
電話番号	047-712-7434	対象年度	R7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>【活動場所】 みらいず行徳 【実施日程】 令和7年10月14日 【概要】 仕事に必要なコミュニケーションとマナー 【利用者数】 9名</p> <p><目的></p> <p>本セミナーは、利用者が一般就労や日常業務において必要となる基本的なコミュニケーション能力および社会人マナーを習得することを目的として実施した。</p> <p>具体的には、以下の点の理解と実践力向上を目指した。 社会人として必要な基本的なマナーの理解 職場で円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション方法の習得 トラブルを未然に防ぐ会話・対応のポイントの理解</p> <p>また、座学だけでなくロールプレイを通じて、実際の場面を想定した実践的なスキルの習得を図った。</p> <p><成果></p> <p>本セミナーを通じて、利用者のコミュニケーションおよびマナーに対する理解が深まり、以下のような成果が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○挨拶・言葉遣い・身だしなみなど、基本的なマナーへの意識向上 ○報告・連絡・相談（報連相）の重要性の理解と実践意欲の向上 ○相手の立場や気持ちを考えたコミュニケーションの意識付け ○雑談や会話における「配慮」や「距離感」への理解の向上 ○ロールプレイを通じて、実際の場面での対応力の向上 <p>特に、実践形式のロールプレイにより「どう対応すればよいか分からない」という不安の軽減につながり、明日からの業務に活かせる具体的なイメージを持つことができた。</p>	<p><活動の様子></p>  
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

連携先の企業や事業所等の意見または評価

外部講師（NPO法人NECST）からは、以下のような評価をいただいた。

- 利用者が積極的に参加し、ロールプレイにも前向きに取り組んでいた
- 基本的なマナーやコミュニケーションに対する理解力があり、今後の成長が期待できる
- 実務に直結する内容であり、継続的な実施により更なる定着が見込まれる

また、事業所としても、実践的な内容であり、日々の支援や作業現場にすぐ活かせる有意義な研修であったとの評価を得ている。

連携先企業（担当者）	NPO法人NECST（未公開）
------------	-----------------

利用者からの意見・評価

参加した利用者からは、以下のような意見が挙げられた。

- 「挨拶や言葉遣いの大切さを改めて理解できた」
- 「報連相のやり方が具体的に分かって良かった」
- 「ロールプレイが実際の場面に近くて分かりやすかった」
- 「雑談の内容や距離感について考えるきっかけになった」
- 「明日からすぐに実践してみたいと思った」

全体として、実務に活かせる内容であったという前向きな評価が多く、利用者の意識向上につながる研修となった。